

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010030

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A	
単位施策	2 成人保健の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	地域保健予防事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	14 国保病院	
事業指標	健康相談等保健事業参加者数、受診率		#N/A	
事業目標	前年度対比の増、受診率向上	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有	関係例規・法令名	有 健康増進法	
住民協働	主体的な健康習慣改善への取組	関係個別計画名	無	

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	健康診断・健康相談事業をととして生活習慣予防に関する知識・意識を向上することにより医療費・介護費の増高を抑制し住民の福祉の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳の交付</li> <li>・一般健康診査</li> <li>(特定健診対象者以外の20歳以上の町民対象)</li> <li>・肝炎ウイルス検診</li> <li>・健康相談・健康教育の実施</li> <li>・訪問指導の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳の交付</li> <li>・一般健康診査</li> <li>(特定健診対象者以外の20歳以上の町民対象)</li> <li>・肝炎ウイルス検診</li> <li>・健康相談・健康教育の実施</li> <li>・訪問指導の実施</li> <li>・健康増進事業計画策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳の交付</li> <li>・一般健康診査</li> <li>(特定健診対象者以外の20歳以上の町民対象)</li> <li>・肝炎ウイルス検診</li> <li>・健康相談・健康教育の実施</li> <li>・訪問指導の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳の交付</li> <li>・一般健康診査</li> <li>(特定健診対象者以外の20歳以上の町民対象)</li> <li>・肝炎ウイルス検診</li> <li>・健康相談・健康教育の実施</li> <li>・訪問指導の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳の交付</li> <li>・一般健康診査</li> <li>(特定健診対象者以外の20歳以上の町民対象)</li> <li>・肝炎ウイルス検診</li> <li>・健康相談・健康教育の実施</li> <li>・訪問指導の実施</li> <li>・来庁者血圧計更新</li> </ul>	
	事業費(千円)	8,660	1,677	1,728	1,715	1,715	1,825
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	1,787	353	366	356	356	
	地方債	0					
	その他	435	87	87	87	87	
一般財源	6,438	1,237	1,275	1,272	1,272	1,382	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	6,817	1,190	1,747	1,391	1,427	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	2,343	442	300	426	632	
	地方債	0					
その他	479	146	127	100	64		
一般財源	3,995	602	1,320	865	731	477	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	健康増進事業道補助金 健診受診者個人負担金	【評価・実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳の交付 153件</li> <li>・一般健診、保健指導 延311名</li> <li>・肝炎検診 38名</li> <li>・健康相談、健康教育 延610名</li> <li>・訪問指導 延209名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳新規交付 84件</li> <li>・一般健診、保健指導 延331名</li> <li>・肝炎検診 28名</li> <li>・健康相談、健康教育 延811名</li> <li>・訪問指導 延153名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳新規交付 74件</li> <li>・一般健診、保健指導 延351名</li> <li>・肝炎検診 28名</li> <li>・健康相談、健康教育 延949名</li> <li>・訪問指導 延187名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳新規交付 62件</li> <li>・一般健診、保健指導 延335名</li> <li>・肝炎検診 32名</li> <li>・健康相談、健康教育 延938名</li> <li>・訪問指導 延164名</li> </ul>	
			※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	事業参加者数の増	事業参加者数の増	事業参加者数の増	事業参加者数の増、受診率向上	事業参加者数の増、受診率向上
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	71%	101%	81%	83%	58%
	全体達成率	14%	34%	50%	66%	79%	
	備考欄						

事業名	地域保健予防事業	評価者	管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者	作成者 職氏名	保健係長	小野 美和

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	20歳以上の町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	社会背景として、生活様式や食事形態等の変容により生活習慣病のリスクが高い状況がある。高血圧症や糖尿病等は医療費等社会保障費の増大につながり、基礎疾患の重症化による脳・心・腎疾患の発症は町民の健康寿命やQOLに大きくかかわる課題である。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活習慣病の発症予防、重症化予防ができる。	① 健康相談等保健事業参加数(前年比)	目標年度 平成29年度
【その結果、どのような成果を 実現したいか】 ※成果=目的	生活習慣病による健康課題、生活障害を予防し、健康的に生活できる町民が増える。		目標値 938人
			実績値 821人
			達成度 87.5%
		②	目標年度 平成29年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を 行ったか)】	一般健康診査及び肝炎検査の実施	特定健診対象者以外の対象者(20~39歳の全町民、生活保護受給者等医療保険非加入者)への健康診査及び40歳以上の肝炎検査未受診者への肝炎検診実施。	
	健康相談、健康教育の実施	全町民を対象とする健康相談(訪問、来所、電話、Email等)の実施。職域・地域等多様な集団に対する健康教育の実施	
	健康手帳の交付・活用	健診等保健事業の機会を活用した健康手帳の交付(健康増進法に基づき)、個人の健診結果や医療機関受診結果等健康情報を整理するための個人ファイルの交付。健康手帳・個人ファイルの活用方法についての情報提供	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法により40歳以上の対象者への健診・肝炎検診の実施、保健指導の実施が義務付けられている。40歳未満の者に対する健診等の実施は、若年者でも代謝異常を来たしているケースも多く、生活習慣病の発症予防・早期発見のため重要である。
必要/概ね必要 /課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	スタッフ数減に伴う健康教育等の一部縮小により実施数が減少しているが、20歳健診の受診勧奨に対して数件反応があり受診につながるなどの結果となった。健康教育ではテーマの連続性など積み重ねを意識し、各集団の健康レベルのベースアップを図っていく工夫が必要である。
有効/概ね有効 /課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	委託機関の協力も得ながら、各種健診の周知、申込受付、結果作成等を一体的に実施し、事務作業の効率化を図った。
効率的/概ね効 率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	無料クーポン券対象者以外には健診受診者への受益者負担を求めている。事業実施については、広報、ホームページ、新聞折込等で広く公平に周知している。また、健康教育については、要請、要望に併せて公平に対応している。
公平/概ね公平 /公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	<b>B</b>	
	町民の健康増進、生活習慣病を予防できるような各事業は今後も重要であり、健診結果等を通じての個別支援や健康教育等を通じてのポピュレーションアプローチなど、対象と方法の工夫が必要である。	

今後の展開方向  
(Action)

	<b>継続/現状維持</b>	
	生活習慣病は増加傾向であることから、スタッフ体制を整えつつ、若年層からの健康的な生活習慣の確立を目指し、町民の健康を守ることが重要である。	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止